

2020年4月、 新学部「国際日本学部」 開設



2028年の創立100周年に向かって歩みを進める神奈川大学の“今”をお伝えする「JINDAI LETTERS」。第2号となる今回は、2020年4月に開設する「国際日本学部」についてご紹介します。本学14年ぶりとなる新学部は、どのような思いで構想され、いかなる学びを展開していくのか。国際日本学部の特徴と魅力に迫ります。

日本文化の基底にある「寛容な心と共生」を世界に

2016年4月に学長に就任して以来、より充実した教育と研究を推進することを目的に、様々な取り組みを進めてまいりました。その一環として構想した「国際日本学部」新設と「みなとみらいキャンパス」開設は、「国際」と「日本」が融合した「創造」と「交流」とを実現する、世界と地域に開かれた先進的な「知の拠点」を創造することを目指すものです。

「対立と分断」「排除と不寛容」が錯綜する国際社会において、世界と日本の文化・歴史についての深い理解をもとに、日本文化の基底にある「寛容な心と共生」を世界に積極的に発信すること、また、ダイバーシティに関する世界標準の倫理を身につけた良識ある市民を育てること、そして、その教育を支える優れた研究を「みなとみらいキャンパス」で展開することの意義は大きいと考えます。これは同時に、国連が求めるSDGsをはじめとする持続可能な社会の実現に向けた多様な知見と連動し得るものであり、高等教育機関としての社会的な責務を全うする基盤となる

ものと確信しています。

この度、2019年7月2日付で文部科学大臣から収容定員変更認可の通知を受領し、国際日本学部を2020年4月に設置することが認められました。いよいよ本格的に学生募集活動が開始します。幸い、多くの受験生や保護者、高等学校の先生などから、関心を寄せていただいていると聞いています。本学ならではの「国際日本学部」の今後にご期待ください。



神奈川大学長
兼子 良夫

学部・学科		入学定員	収容定員
国際日本学部	国際文化交流学科	170名	680名
	日本文化学科	60名	240名
	歴史民俗学科	70名	280名
学部合計		300名	1,200名

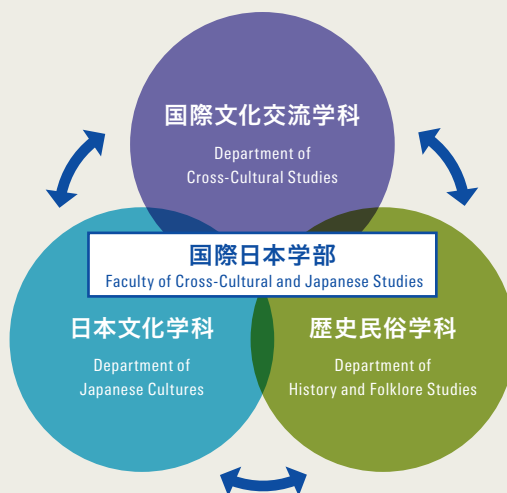
国際日本学部

—「世界」「日本」「地域」の架け橋に—

2020年4月、神奈川大学に「国際日本学部」(CCJ: Cross-Cultural and Japanese Studies)が誕生します。ただ一つのグローバルな基準で世界と日本を見るのではありません。多様な文化や価値観を理解し、足元にある「roots(根)」と広い世界に羽ばたく「wings(翼)」を、ともに学ぶ場なのです。文化とは一国単位で成立するものではなく、複数の文化が交わり合うなかで、新たに生まれていくもの。たとえば、日本の浮世絵がヨーロッパにジャポニスムという流行をもたらしました。その影響を受けたゴッホは新しい絵画を創り出し、その絵画が今度は日本の洋画界に影響をもたらしたのです。このような文化のダイナミズムへの理解を深めることこそが、国や地域の枠組みを超えてモノや文化、情報が行き交う現代のグローバル社会において重要になります。

国際日本学部は「文化交流—多文化共生—コミュニケーション」をキーワードに、深い専門性と幅広い教養を兼ね備えた、世界と日本、地域を結ぶ架け橋となる人を育てていきます。

国際日本学部は2020年4月、横浜キャンパスに開設。
2021年4月に、みなとみらいキャンパスへ移転します。



国際日本学部の3学科のつながり

3つの学科は、それぞれのコアを持ちながら、学科を超えた学び・横断的な学修が可能。個々の関心に合わせて、所属学科以外のゼミを履修することもできます。また、どの学科も博物館や美術館などでの実習を導入し、みなとみらいのフィールドを存分に活用した学びを展開します。

国際文化交流学科

世界で起きていることに関心を抱き、身の回りで起きている小さなことにも興味を持つことが、国際交流をスムーズにする近道だと神奈川大学は考えます。国際文化交流学科では、世界と日本の文化を学び、英語による授業などで外国語の運用能力を鍛え、国境を超えて広く伝えるスキルを身につけます。



学びの特色

世界の文化的多様性を広く理解

文化交流には様々な地域への理解が不可欠。アジアや欧米、中東など世界の文化とともに、日本文化を深く理解し、異文化圏の人たちと語り合える教養を養います。

文化の橋渡しをする「コミュニケーション力」を鍛える

文化交流の場で求められるのは語学力ではありません。多様な人との交流やゼミでの議論を通して、世界に通用するコミュニケーション能力を身につけます。

少人数授業で確かな外国語運用能力を養成

英語の他に「地域言語」として7言語から1言語を選択。少人数授業を通して、真の国際人の証しとも言える「トライリンガルスピーカー(3言語話者)」を目指します。

短期から長期まで、多彩な留学プログラム

留学をしても4年間で卒業可能な留学単位認定制度を整備。コースによっては海外でのインターンシップを体験できるなど、実践的な学修環境が整っています。

4つのコース

※2年次から1つを選択します

● 文化交流コース

世界の様々な文化を的確に理解し、比較によって自文化を相対化しながら、国際的な文化交流ができる人を育成。

● 観光文化コース

観光が生み出す文化とそれに関わる人々との関係を理解し、観光関連産業や国際的な相互理解の場で活かせる人を育成。

● 言語・メディアコース

ことばとコミュニケーションへの深い知識と洞察力、メディアに関する実践的な知識と分析力で新時代を切り開く人を育成。

● 国際日本学コース

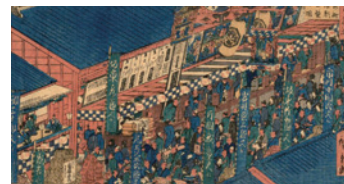
国内外の専門家とともに、内と外から「日本」を見つめ直し、日本文化を複眼的に理解。国内外で活躍できる人を育成。

想定される進路

- 旅行・観光業、通訳、地方自治体の観光業務部門
- 国際展開する企業、地方自治体の国際業務部門、国際組織職員、NPO
- 国際・国内・地域の文化関連企業
- メディア、広告代理店、情報サービス業
- 日本語教員、その他教育関連業 など

日本文化学科

日本語のしくみや成り立ち、古典文学や近現代文学、江戸時代の浮世絵や歌舞伎、茶道や華道、書道といった伝統文化、アニメやミュージカルなどの現代文化など、多彩な日本文化を学ぶ日本文化学科。日本の文化を究め、グローバルな感覚でとらえ直し、多文化共生に貢献できる人材を育成します。



学びの特色

日本語の運用能力を高め、日本語のプロを目指す

文章表現や文献講読の演習、日本語学の科目を通して、日本語の運用能力を高めます。日本語のプロとして活躍するための表現力や伝達力を身につけます。

多方面からの学びで、日本文化を究める

日本語や日本文学、舞台芸術、茶道や華道、食文化、宗教、思想、音楽、漫画、アニメなど、多方面からの学びによって、日本文化の魅力に鋭く迫ります。

日本文化をグローバルな感覚でとらえ直す

日本文化を追究しつつ、他学科との共通科目によって総合的な学びを実現。海外でも注目される日本文化の魅力を理解し、多文化共生社会に貢献する人材を育てます。

実感重視のフィールドワークを積極的に展開

みなとみらいキャンパス周辺の博物館、美術館、劇場などへ実際に訪れ、様々なアート体験で感性を磨くフィールドワークを積極的に展開します。

3つの分野

● 日本語学

「日本語学概論」「日本語文法論」などの授業で日本語の特質を理解し、ことばの面から日本文化をとらえます。

● 日本文学

近代文学、古典文学、文学史など、文学という側面から日本を分析。多くの作品にふれることで日本文化の魅力に迫ります。

● 文化・表象

美術、芸能、音楽、ポップカルチャー、食、書道、工芸など、身近で親しみやすいテーマを幅広く研究します。

※出版メディアや放送メディア、観光文化、地域文化、文化交流についても学修。主眼に置いているのは、日本文化の継承とその活性化に寄与することです。

想定される 進路

- 中学・高校の国語教員
- 日本語教員、その他教育関連業
- シナリオライター、コピーライター、ジャーナリスト
- 出版・編集、マスコミ、観光業
- 日本文化（文学・芸術）関係の博物館学芸員
- 一般企業、国家公務員、地方公務員 など

歴史民俗学科

過去から受け継がれてきた歴史と民俗を、現代にどのように活用し、未来へとつなぐかを考える歴史民俗学科。日本の古代から現代までの「歴史」、日本の各地域における信仰伝承や儀礼伝承などの「民俗」、それらの文化資源を地域おこしや観光に活用する「文化創生」の3分野から学びを深めます。



学びの特色

街おこしや地域振興のキーパーソンを育てる

地方文化を研究対象として、歴史学と民俗学を学修。地域の歴史文化を守り、伝え、活かすことで社会に貢献する、これからの時代が求める貴重な人材を育成します。

歴史・民俗・文化創生を、グローバルに学ぶ

「東アジアの交流史」「東アジアの民俗」など他国を理解する科目も用意。グローバルな視点から、歴史、民俗、文化創生を学べます。

「日本常民文化研究所」の研究に基づく授業

長い歴史を持ち、ユニークな着眼での歴史研究で多くの注目を集める。そんな神大の「日本常民文化研究所」が誇る知的資産に基づく授業を展開します。

見て触れて感じる、フィールドワークも多彩

キャンパスから飛び出し、研究対象の地域の人々の暮らしや資料に触れる体験的学修を重視。自分のカラダと感覚をフル活用するアクティブな学びが、ここに 있습니다。

体系的な学び

街おこし、地方振興、地域活性化、文化創生……。これらの活動の中心になって、精力的に行動できる人材が求められる時代になりました。社会のニーズにいち早く対応し、全国の大学の中でもユニークな学科として誕生したのが、歴史民俗学科です。新学科ながら、神奈川大学が誇る大学院研究科「歴史民俗資料科学研究科」につながる体系的なカリキュラムを展開するのが大きな特徴です。そして、長い歴史を有する本学「日本常民文化研究所」の伝統ある研究に基づく授業によって、貴重な知識を身につけることができます。

想定される 進路

- 大学院進学を経て、歴史学や民俗学、資料学などの専門家や研究者
- 地域の歴史文化の継承・保存、活用、街おこしなどを担う仕事
- 博物館学芸員、歴史の教員
- 地域プランナー、ジャーナリスト
- 観光業・マスメディアなど地域の歴史・民俗を扱う様々な職種 など

2019年7月、新国際学生寮が竣工しました

「開港地横浜に学校を設立するからには、国際人の育成こそが使命」という、創立者・米田吉盛の思いを受け、海外の大学等との学術・文化交流を推進する神奈川大学。交流協定締結を積極的に進め、現在、38ヶ国、136の協定校から、多くの交換留学生を迎えています。グローバル化の進展に伴い、多様な価値観を理解し、共生する力が求められる今、日本、世界の各地から学生が集う神奈川大学のキャンパスを、さらに刺激的で魅力的な空間にしたい。こうした思いから、横浜キャンパス近くに、新しいタイプの“まちのような学生寮”が誕生しました。シェアキッチンなどの充実した共用スペースを設け、海外と日本の学生がともに暮らすなかで、異なる生活文化や習慣と出会い、国際理解を深めることができる新国際学生寮。豊かな国際力を育む新たな成長の場です。



国際日本学部特設サイト公開中

学部・学科メッセージ動画や教員紹介、授業科目など、コンテンツを拡充しました。ぜひご覧ください。



TOPページ



各学科の詳細へ

学科TOP



「学びの特色」
「教員紹介」
「資格と進路」へ

「主な科目」へ

教員紹介



「教員紹介」では、各教員の専門領域紹介の他、一言メッセージも。さらに、「神大の先生」「研究者情報」にもリンクして、その魅力に迫ります。

主な科目



開講予定科目の中から、代表的なものを紹介。新しい学部ならではの個性的な科目が目白押しです。